

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年2月28日  
北アルプス地域振興局

提出区分	実績				
整理番号	10	課題区分	C		
実施機関	北アルプス地域振興局		担当課	所属	総務管理課
事業名	防災シンポジウム開催事業		電話	0261-23-6502(直)	
			E-mail	kitachi-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業概要	目的 (目指す姿)	過去の災害の記憶を風化させないことと、「自助」、「共助」による地域防災力の向上を図ることを目的に「防災シンポジウム」を開催する。			
	現状と課題	当地域は、糸魚川・静岡構造線上に位置し、30年以内の震度6弱以上の地震発生確率は、池田町、松川村で22%、大町市で14%と推計されている。また、急峻な地形、脆弱な地質から土砂災害が発生しやすく、過去にも多くの災害が発生している。			
内容	内容 (変更後の内容)	1. 基調講演 ・演題:「気象災害と防災気象情報の現状」 ・講師:長野地方気象台次長 春原 城辰 氏 ・演題:「住民のちからで実現するだれひとりとのこさない防災・減災」 ・講師:公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター主任研究員 松川 杏寧 氏 2. パネルディスカッション ○ コーディネーター ・松川 杏寧 氏(基調講演講師) ○ パネラー ・春原 城辰 氏(基調講演講師) ・宮澤 洋介 氏(北陽建設(株)技術顧問、地質防災室長) ・大出 高志 氏(池田町消防団長) ・高見沢 靖 氏(長野県危機管理部 危機管理防災課長) 3. その他 ・パネル展示:過去の災害に関する写真パネル展示 ・災害模擬体験(土石流体験、煙体験) など			
	事業期間	平成30年11月		～	平成30年11月
成果目標 (成果指標)	地域の住民の方々に過去の災害の記憶を留め、自助、共助の重要性を再確認していただくことにより、地域防災力の向上を図る。 地域住民等シンポジウムの参加者数:100名				
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	防災シンポジウム開催事業	・基調講演 ・パネルディスカッション ・災害模擬体験 など	422,328	基調講演者、パネラー報償費、旅費 災害模擬体験設備借上費 等	
	合計		422,328		
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	防災シンポジウム開催 ・日時:平成30年11月23日(土) ・会場:池田町 創造館 ・内容:上記事業概要のとおり。昨年度は、神城断層地震3周年記念として、地震を中心実施したが、今年度は7月の西日本豪雨災害の発生を受けて、気象災害に関する基礎知識を再確認する講演も合わせて実施した。 ・参加者 地域住民、自主防災組織、消防団、市町村職員 など 約120名		目標を上回る参加者を確保してシンポジウムを開催できた。 アンケート回答者(32名)のうち講演内容、シンポジウムの内容ともに94%以上が「よかった」と回答。また、84%以上が「防災意識が変化した」と回答があった。 参加者から「情報と防災減災に関する一人一人の意識が大切」、「まず自助、それから共助が必要」などの意見も寄せられ、防災における「自助」、「共助」の重要性を啓発する目的が達せられた。		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	管内全市町村が糸魚川・静岡構造線上に位置していることから、管内全市町村で順次シンポジウムを開催することを検討。				